



334複合地区スローガン
温故知新—創造と挑戦とスピー
ド、さらなる価値ある奉仕を

334-B地区スローガン
「ありがとう」感謝の心で
We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン
一致団結ライオンズ魂、日本から世界へ発信

2014年 1月 第二例会 766回
1月28日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第766回 教養例会

- | | | |
|--------------------|--------------|--------|
| | 司 会 | L.山口 |
| 1 開会ゴング | 会 長 | L.小野木 |
| 2 国歌並びにライオンズヒムの歌斉唱 | | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | | L.熊澤 |
| 4 慶祝行事(結婚祝) | | L.小野木 |
| 5 会長挨拶 | | L.小野木 |
| 6 講演「岐阜県の献血の現状」 | | |
| | 岐阜県赤十字血液センター | |
| | 事業部推進課 課長 | 佐伯 俊也様 |

< 食 事 >

- | | | |
|--------------|--------|---------|
| 7 幹事報告 | | L.大橋 |
| 8 各委員会報告 | | |
| 9 テールツイスター登場 | | L.長谷部 |
| 10 出席報告 | 出席大会委員 | L.日比野 |
| 11 会計報告 | | L.広瀬(真) |
| 12 閉会ゴング | | L.小野木 |

会長・幹事報告

第766回 幹事報告

- 下期ライオン誌特別負担金15,750円を抛出致しました。
- 下期ZC活動協力金1,000円×49名=49,000円を抛出致しました。
- 第60回334-B地区年次大会事務局が開局しました。
〒516-0037三重県伊勢市岩渕1丁目7-17
伊勢商工会議所5階
TEL 0596-65-7030
FAX 0596-65-7031
E-mail lc334b-ise@iris.ocn.ne.jp
- ライオンズクラブ国際協会334-B地区次期キャビネット準備事務局が開局しました。
ホスト1R2Z 大垣ライオンズクラブ
〒503-0812 岐阜県大垣市万石2-31
ライオンズクラブ合同事務所内
TEL 0584-71-8641
FAX 0584-75-3320
E-mail 334-b.cb@lions-ogaki.jp

会計報告

ドネーション	7人	金額	40,000円
ファイン	2人	金額	6,000円
Boxファイン		金額	円
合計	9人	金額	46,000円

出席報告

会員数	49人
出席数	46人
出席率	93.9%

次回例会案内

日 時: 2月4日(火)12:15から
場 所: 伊奈波神社
例会名: 節分例会

慶祝行事

結婚祝 15日 L.小野木 慶明

会長挨拶

会長 L.小野木 慶明

皆さんこんにちは。昨日から岐阜市内は騒がしくなってきました。岐阜市長選挙と市議会議員の補選です。今日の中日新聞には各候補の主張が掲載されていました。各候補への質問項目とその回答をざっと見ましたが、曖昧な回答が多く見られ、争点が未だハッキリしません。東京では都知事選挙です。こちらは原発なんだそうです。どうもピンときません。

ライオンズの視点で見ますと、やはり社会的弱者、ハンディキャッパーへの施策について興味のあるところですが。

しかし質問も無ければ、回答の中にもそれについてのコメントは少ない。社会に於ける弱者と当たらない場所があります。ともすると陽のあたる部分に候補者や有権者の関心は集まりやすいようです。票になるからでしょうか。消費税増税と物価上昇の中で、取り残される人たちが増えていくのではないかと。若い人たちの社会への関心が薄れ、投票に行く人たちが高齢者に偏り、いわゆるシルバー民主主義の傾向が強くなるのではないのでしょうか。景気上昇の局面で、より鮮明になる影の部分を考えさせられる最近です。

さて本日お配りいたしましたライオン誌の38ページをご覧ください。ここに気仙沼ライオンズクラブのアクトの報告が掲載されております。当クラブが支援いたしました「海拔表示プロジェクト」です。真ん中あたりの文章の中に「岐阜西ライオンズクラブと合同で支援をしている」と記載されております。昨年の例会で気仙沼ライオンズクラブよりのお手紙と写真、新聞記事をご披露させていただきましたが、その折「当クラブの文字が何処にも出ていないのはどうしたものか」とのご指摘を受けましたが、今回のライオン誌にはこのような形で掲載されましたので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



特別記事

教養例会

岐阜県赤十字血液センター 事業部 推進課 課長 佐伯 俊也

「岐阜県献血の現状について」 様



岐阜西ライオンズクラブの皆様におかれましては、日頃から献血活動にご理解ご協力を賜りまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

献血で採血した血液には有効期間がある為、輸血を受けられる患者さんの必要な分の血液を確保していかなければいけません。400mlは3週間の有効期間ですので、善意で頂いた血液を無駄にしてはいけないという思いから、我々は医療機関からの今までの供給データをもとに、予測される供給データにプラスアルファの献血目標を立てて推進をしております。大事なことは過不足無く推進していくことであります。

輸血を受けられる患者さんは、8割ががんや貧血などの内科的治療で使われます。特にがん放射線治療の中で、壊れた血液を補う為に輸血が必要になります。また、その治療は毎日行われる為、血液は毎日必要ということになります。平日で赤血球200mlを1単位400mlを2単位で計算し、350単位から400単位が必要です。200人分が毎日使われることによって、平均して200人越えの採血をしていかなければなりません。

また、少子高齢化に伴い、がんのような内科的治療が多くなる、よって血液もますます必要になります。実際、毎年3%の伸びがあり、確実に増えていっております。今年度も昨年以上に採血をしていかなければならないということで、日にプラス4~5人お願いすることになります。しかしながら、今年は伸び悩んでいる現状で、愛知県や北陸から献上していただいで助けられています。課題としては、県内で確実に血液を確保しなければいけないということです。問題は、献血世代が減少している事であり、支える側が減っているというところにあります。特に10代・20代の世代が献血離れしています。その為、大学や高校で献血セミナーを行い、献血に対する理解を深めてもらっています。昨年は4校で実施しました。また、このままいくと30代・40代の献血離れが進んでいくことも懸念されます。様々な取組みを通して若い世代に献血推進をしていく計画です。

今、全国では9割が400m l 献血という状況ですが、岐阜県では8割となっています。なぜ400m l 献血の推進をしているのか、という点ですが、医療機関においては98%が400m l を望んでいます。輸血をするということは、それだけリスクを負うことになります。患者さんの安全の為、少しでも同じ血液で副作用を抑えるために、400m l が欲しいということです。若年層、女性、低体重の為200m l しかできない方に関しては、もちろん受け入れも考慮していきますが、400m l しかできないという現場もあり、お断りせざるを得ない現状です。我々もお断りということは非常に心苦しいですが、献血後には、血液を使用される患者さんがいるということを広く訴え、お願いしてまいる所存です。岐阜県としては全国平均の9割までが目標です。

献血に関して非常に感謝申し上げたいエピソードは、3年前の東北震災の時のことです。震災後は、岩手・宮城・福島にそれぞれ3つある血液センターの機能がストップしました。すぐに本部から連絡があり、東北支援として余分に採血の割り当てを命じられまして、頭を抱えていた矢先、連日多くの方が採血に訪れてくださいました。しかし、一度にたくさんの血液を必要とせず、皆様には「長期的なお願い」を理解していただく結果となりましたが、後日献血に再来して下さったという大変ありがたい出来事でありました。東北3県のセンターは全国的支援のおかげで、半年で他県の応援を必要としない状況に戻りました。

結婚祝



1月結婚祝

L.小野木慶明 おめでとうございます。

委員会報告

献血事業

保健・四献・視聴力・アイヘルス、環境保全委員長 L.森口和巳

1月18日(土)カラフルタウンに於いて献血活動を行いました。

実績

受付者数 38名 献血者数 33名
200ml なし 400ml 33名 でした。

ジュニアリーダー会の皆様、お手伝いありがとうございました！



同好会報告



第4回ゴルフ同好会コンペ

1月21日開催

於： トーシゴルフクラブセントラルコース

優勝 L.水田 誠

おめでとうございます。